

海老名災害関係 3者定例会の報告 (2017年度)

(文責) 福田博 (海老名災ボラ)

【日時】平成 29 年 9 月 6 日 (水) 9 時 30 分~11 時 30 分

【会場】海老名市総合福祉会館

【出席】海老名市社協 (中島)、海老名市危機管理課 (野地)、海老名災ボラ (橋本、福田)

【議題】

(1) 「体験型講座：減災・災害対応訓練」について

【主催】海老名災ボラ、【協力】海老名市社協、【後援】海老名市

【日時】2017 年 9 月 24 日 (日) 10 時~13 時

【場所】海老名市総合福祉会館 (1 階の室内及び室外)

【課目】①水の備蓄と水運び、②災害時のトイレ利用の方法、③家具の固定、④ガラス飛散防止
⑤災害の灯りづくり、⑥食糧の備蓄と災害食、⑦シェイクアウト訓練 (随時)

【広報】「広報えびな」9 月 1 日号 (危機管理課が担当)

「タウンニュース海老名版」(海老名市社協が担当)

【申込先】海老名市社協：9 月 6 日現在で 5 名、災ボラは参加者の増加に向けて、働きかける。

【実施方法】災ボラ及び社協は、当日、9 時に集合し、開催準備を行う。①水運びの用具は室外に配置し、それ以外②~⑥の用具は室内に配置する。⑥災害食は全員で食べる。

昨年は、実施する課目ごとに災ボラの出席者が説明員として配置につき、参加者 10 数名が 2 班に分かれて、課目の場所を回った (課目数に応じた説明員が必要となる)。今年は、説明員が不足した場合の対応として、参加者を 10 人未満の班に分けて、災ボラの出席者はそれぞれの班に付いて、課目①~⑤を順に回り、その場で説明を行なう (どの課目を誰が説明するかは事前に決定しておく)。⑥災害食についてはアルファ化米と炊飯袋 (ハイゼックス) を使って炊飯する (卓上コンロを用意)。副食品ジャガリコサラダは社協が提供する。危機管理課は災害食【アルファ化米】を提供する。

【次第】開会式、司会：社協 (中島)、挨拶：災ボラ (橋本代表)、危機管理課 (担当者)

課目体験後に、全員で災害食を食べながら「振り返り」、海老名災ボラは PR を行う。

(2) 「扇町防災フェス 2017」への協力について

【主催】一般社団法人海老名扇町エリアマネジメント

【日時】10 月 7 日 (土) 10 時~16 時

【場所】海老名駅西口中心広場、西口プロムナード、横浜銀行海老名駅前支店

【目的】扇町地区の防災意識の醸成と地域コミュニティの形成、賑わいの創出

【内容】「イザ、カエルキャラバン」(防災イベント企画企業?) 水消火器当てゲームなどを実施

【参加】扇町の住人、事業者を中心に 1 万人 (予定) 【後援】海老名市教育委員会 (予定)

【協力】海老名市 第 11 回えびな安全・安心フェスティバルを同時開催

【社協から災ボラへの要請】扇町エリアマネジメントから、社協及び災ボラへの要請は、当日のスタッフ (行事支援) を出して欲しいということである⇒当初の聞いていた「出店」ではないので、明日の災ボラ定例会で検討する。スタッフで参加したいという会員がいれば社協へ連絡する。

(3) その他：九都県市合同防災訓練、「ビックレスキューかながわ」をめぐって
〈第 38 回九都県市合同防災訓練・「ビックレスキューかながわ」(神奈川県・小田原市合同防災訓練の報告)

【日時】2017 年 9 月 1 日(金) 9 時～13 時、

【会場】無料シャトルバス運行(JR 鴨宮駅と中央会場の間)

●中央会場：小田原市 酒匂川スポーツ広場

- ・救出救助エリア：消防、警察、自衛隊、在日米軍などによる救出救助訓練
 - ・ライフライン訓練エリア：通信、電気、ガス、水道のインフラ事業者が応急復旧訓練
 - ・防災フェアエリア：防災関係機関や民間企業・団体がブースを出展し、パンフレットなどを配布
 - ・医療救護活動訓練エリア：神奈川 DMAT、自衛隊、在日米軍、医師会、歯科医師会による訓練
 - ・住民参加型訓練エリア：AED、消火、煙体験などの住民参加型訓練
 - ・ボランティアセンター訓練エリア：社会福祉協議会等が災害ボランティア支援センター設置訓練
- 津波対策訓練会場：酒匂海岸から小田原市酒匂中学校へ、付近の自治会の住民 100 人が避難した。

・海老名災ボラの参加者(5 名)は、中央会場のボランティアセンター設置訓練に、ボランティア役として参加し、中央会場(特に防災フェア会場)を見学した。

・海老名市危機管理課の職員は神奈川県職員とともに中央会場のスタッフとして参加した。

下記の注は私(福田)が、神奈川県や市のサイトを検索した結果からまとめたものである。

(注1) 九都県市合同防災訓練：首都圏にある 4 都県と 5 政令指定都市(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、横浜市、川崎市、さいたま市、千葉市、相模原市)が合同して行う大規模な防災訓練で、毎年 9 都県市の持ち回りで、9 月 1 日前後に実施されている。消防、警察、自衛隊、在日米軍などが連携して、救出救助訓練や医療救護訓練などを行い、国の関係機関や政府の要人も出席する。平成 29 年は神奈川県の番で、小田原市の酒匂川スポーツ広場を中央会場として開催された。

(注2) ビックレスキューかながわ：九都県市合同防災訓練と連携する形で実施されている神奈川県と県内の市の合同総合防災訓練の別名である。大規模災害発生時の初動対応における救急医療等を主体とした実践的訓練である。この訓練は、自衛隊と県医療関係機関等との連携の強化を図るとともに、住民の防災意識の高揚を図ることを目的としている。

「ビックレスキューかながわ」：平成 29 年度は「神奈川県・小田原市合同総合防災訓練」として、平成 28 年度は「神奈川県・横須賀市合同総合防災訓練」として、平成 27 年度は「神奈川県・厚木市合同総合防災訓練」として実施された。平成 30 年度は「神奈川県・海老名市合同総合防災訓練」として、海老名市での開催が予定されている。

〈平成 30 年度「ビックレスキューかながわ」(神奈川県・海老名市合同防災訓練)について〉

平成 30 年度の九都県市合同防災訓練の中央会場は川崎市となっており、「ビックレスキューかながわ」の会場は海老名市(主会場は神奈川県立相模三川公園)が予定されている。平成 30 年度の実施要項は未だ公表されていない。また、神奈川県(安全防災局)と海老名市(危機管理課)との打ち合わせ等は未だ実施されていないようなので、実施の詳細は未定と思われる。